

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

第1 概要

令和2年度の畜産をめぐる情勢は、飼料価格及び生産資材の高止まりが畜産経営に大きな影響を与えている中、令和元年度に入り、TPP、日EU・EPA及び日米貿易協定が次々に発効され、畜産経営環境は新たな局面を迎え、畜産農家にとっては大変厳しい状況が続くこととなっている。

とりわけ、家畜衛生面においては、豚熱が平成31年2月に本県で発生が確認され、令和元年12月までに47農場で約6万5千頭もの豚が殺処分され、県内の養豚農家に多大な被害をもたらした。現在、豚へのワクチン接種が開始されているが、発生地域が全国的に拡大し、本年3月末までに11県での発生が確認されており、引き続き一層の家畜防疫・衛生体制の充実が求められている。また、高病原性鳥インフルエンザについては、令和2年11月に、国内で2年半ぶりに発生し、令和3年3月末現在で18県52事例（殺処分約990万羽）と猛威を振るった。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により国内の外出需要が減少し、畜産物、特に和牛肉及び名古屋コーチンの価格が下落し、畜産経営体の経営悪化を招いた。

こうした情勢を背景に、国は畜産関連に予算を措置し、TPP等関連対策として畜産クラスター事業をはじめ、中核的な担い手に対する重点的な各種施策を推進している。

このような中、当協会は平成25年度から公益社団法人に移行して8年が経過し、会員団体や関係機関との有機的な連携を図りながら業務を推進している。

公益目的事業1においては、子牛価格の高騰により肉用子牛生産者補給金の交付はなかったものの、肉用牛肥育経営安定制度においては、全品種で発動が継続し、補填金の交付を実施した。公益目的事業2においては、畜産収益力強化対策、生産基盤拡大支援、担い手生産者や指導者の育成、家畜衛生面の指導、消費者への理解醸成を行ない、公益目的事業3において、畜産経営体支援、新型コロナウイルス感染症に伴う畜産対策、家畜防疫支援、特に豚熱発生農場の経営再開支援に取り組み、本県における畜産振興を図ってきた。

第2 会議及び人事関係等

1. 総 会

(1) 定時総会 令和2年6月29日(月)

大津橋ビル5階大会議室において、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

第1号議案 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件

(2) 第1回臨時総会 令和2年8月27日(木)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

第1号議案 役員の補欠選任に関する件

(3) 第2回臨時総会 令和3年3月29日(月)

大津橋ビル5階大会議室において、2項目について報告するとともに、総会に付議すべき議案について審議し、承認を得た。

議事

- 報告事項 令和2年度収支予算補正に関する件
令和3年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
第1号議案 令和3年度会費徴収に関する件
第2号議案 役員の報酬に関する件

2. 理事会

(1) 第1回理事会 令和2年5月8日(金)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書一部改正に関する件

(2) 第2回理事会 令和2年6月12日(金)

大津橋ビル5階中会議室において、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得るとともに1項目について報告した。

議事

- 第1号議案 令和元年度事業報告及び決算の承認に関する件
第2号議案 肉用子牛生産者補給金制度第6業務対象年間終了に伴う生産者積立金等残額の返還に関する件
第3号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の一部改正に関する件
第4号議案 家畜防疫互助事業業務方法書の一部改正に関する件
第5号議案 令和2年度定時総会開催に関する件
報告事項 職務執行状況等

(3) 第3回理事会 令和2年8月17日(火)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 役員の補欠選任に関する件
第2号議案 経理規程の一部改正に関する件
第3号議案 肉用子牛生産者補給金制度資産管理細則の一部改正に関する件

(4) 第4回理事会 令和2年10月12日(月)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 肉用牛肥育経営安定制度業務方法書の一部改正に関する件
第2号議案 資金調達及び設備投資の見込みに関する件

(5) 第5回理事会 令和2年12月3日(木)

提案された議案について、みなし議決により承認を得た。

議事

- 第1号議案 諸規程の一部改正に関する件

(6) 第6回理事会 令和3年3月12日(金)

大津橋ビル5階大会議室において、1項目について報告するとともに、業務の執行に関する議案について審議し、承認を得た。

議事

- 報告事項 職務執行状況に関する件

- 第1号議案 令和2年度収支予算補正に関する件
- 第2号議案 令和3年度事業計画、収支予算、資金調達及び設備投資の見込みに関する件
- 第3号議案 令和3年度会費徴収に関する件
- 第4号議案 令和3年度歳計現金預入先に関する件
- 第5号議案 令和3年度一時借入金の最高限度額決定に関する件
- 第6号議案 役員の報酬に関する件
- 第7号議案 令和3年度予防注射料金に関する件
- 第8号議案 諸規程の一部改正に関する件
- 第9号議案 役員の補欠選任に関する件
- 第10号議案 臨時総会の招集に関する件

3. 監事会

定期監査 令和2年6月8日（月）

大津橋ビル5階小会議室において、令和元年度理事の業務執行状況並びに財産管理状況・決算状況について、監査を受けた。

4. 役員の状況

区 分	年度当初 (R2年4月1日)	役員補選 (R2年8月27日)	増 減		年度末 (R3年3月31日)
			辞 任	就 任	
理 事	9	1	1	1	9
監 事	3	0	0	0	3

(令和2年3月31日理事1名辞任、令和2年4月1日理事1名就任)

5. 会員の状況

年度当初会員数：20会員

年度末会員数：20会員

6. 職員数 (令和3年3月31日現在)

職 員 7名(出向職員1名< >内) 嘱託職員 3名

区 分	職 員	嘱託職員	計
事務局長	1	—	1
経営安定課	2 <1>	1	3 <1>
畜産振興課	3	2	5
総務管理課	1	—	1
計	7 <1>	3	10 <1>

7. 関係機関等の会議出席状況(県域以上)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
R 2. 4. 20	名古屋市	あいちの豚肉応援実行委員会
2. 4. 23	名古屋市	愛知県農業会議役員手続き打合会
2. 5. 18	名古屋市	愛知県養鶏協会監査会・理事会
2. 6. 2	岡崎市	愛知県和牛改良協会通常総会
2. 6. 9	名古屋市	名古屋コーチン協会総会
2. 6. 15	名古屋市	愛知県養鶏協会総会
2. 6. 23	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟総会
2. 6. 25	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟知事要請
2. 6. 29	名古屋市	愛知県農業会議通常総会
2. 6. 30	東京都	農林水産大臣要請(牛マルキン関係)
2. 7. 8	名古屋市	肥育牛経営等緊急支援特別対策事業全国会議(WEB会議)
2. 7. 13	名古屋市	愛知県畜産協議会打合会
2. 7. 16	名古屋市	愛知県いいともあいち運動推進協議会
2. 7. 20	名古屋市	愛知県養豚協会理事会
2. 7. 21	豊橋市	あいち家畜市場担当者会議
2. 7. 21	岡崎市	畜産フェスタ打合会議
2. 7. 22	名古屋市	(中央畜産会) 地方会員活動支援推進委員会(WEB会議)
2. 8. 21	名古屋市	全国公益法人協会定例講座
2. 8. 24	名古屋市	愛知県農業会議臨時総会
2. 8. 25	名古屋市	愛知県水田農業検討会議
2. 8. 28	名古屋市	中央畜産会管理責任者研修会(WEB会議)
2. 9. 9	名古屋市	自民党県支部連政策懇談会
2. 9. 9	名古屋市	畜産特別支援資金等推進指導事業ブロック会議(WEB会議)
2. 9. 10	岡崎市	愛知県第12回全国和牛共励会出品対策委員会
2. 9. 11	名古屋市	みかわ牛銘柄推進協議会設立総会
2. 9. 15	名古屋市	家畜防疫・衛生指導対策事業推進会議(東海ブロック会議)
2. 9. 17	名古屋市	HPAI・CSF 県域研修会
2. 9. 24	岡崎市	畜産フェスタ打合会
2. 9. 30	名古屋市	(中央畜産会) 地方会員活動支援推進委員会(WEB会議)
2. 10. 14	名古屋市	人権問題の講演と映画の会
2. 10. 15	名古屋市	中央畜産会管理者養成研修(WEB会議)
2. 10. 19	名古屋市	みかわ牛枝肉共励会
2. 10. 23	名古屋市	あいちの豚肉応援フェア
2. 10. 24	岡崎市	畜産フェスタ
2. 11. 4	名古屋市	全国公益法人協会定例講座
2. 11. 4	名古屋市	(中央畜産会) 畜産経営指導支援方針検討委員会(WEB会議)
2. 11. 6	豊橋市	愛知県牛実用化研究会
2. 11. 10	岡崎市	愛知県和牛改良協会役員会
2. 11. 17~19	名古屋市	農場HACCP指導員研修会(WEB会議)
2. 11. 18	豊橋市	あいち家畜市場担当者会議
2. 11. 20	名古屋市	会計検査院第4局第3課会計実地検査説明会
2. 11. 30 ~12. 4	豊川・豊橋・常滑 ・田原・半田	会計検査院第4局第3課会計実地検査
2. 12. 9	名古屋市	愛知県畜産振興議員連盟知事要請
2. 12. 10	名古屋市	畜産フェア(名古屋競馬場)

年 月 日	場 所	会 議 名 等
2. 12. 18	名 古 屋 市	東海ブロック畜産協会連絡協議会
3. 1. 7	名 古 屋 市	(中央畜産会) 女性研修会打合会 (WEB会議)
3. 1. 13	岡 崎 市	畜産フェスタ打合せ会議(反省会)
3. 1. 18	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会役員会
3. 1. 19	名 古 屋 市	全国公益法人協会定例講座 (WEB会議)
3. 1. 20	名 古 屋 市	(中央畜産会) 畜産経営指導支援方針検討委員会 (WEB会議)
3. 1. 25	名 古 屋 市	中央畜産会管理責任者研修会 (WEB会議)
3. 2. 8	名 古 屋 市	(中央畜産会) 地方会員活動支援推進委員会 (WEB会議)
3. 2. 15	名 古 屋 市	(中央畜産会) 女性職員研修会 (WEB会議)
3. 2. 22	名 古 屋 市	愛知県畜産振興議員連盟総会
3. 2. 24	名 古 屋 市	(中央畜産会) 第2回中央打合会 (WEB会議)
3. 2. 26	名 古 屋 市	家畜防疫互助事業中央推進会議 (WEB会議)
3. 3. 2	名 古 屋 市	(全国肉用牛振興基金協会) 経理研修会 (WEB会議)
3. 3. 10	名 古 屋 市	肉用牛肥育経営安定交付金制度全国会議 (WEB会議)
3. 3. 16	名 古 屋 市	愛知県養鶏協会理事会
3. 3. 22	名 古 屋 市	(中央畜産会) 地方会員活動支援推進委員会 (WEB会議)
3. 3. 23	名 古 屋 市	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業全国会議 (WEB)
3. 3. 25	岡 崎 市	愛知県和牛改良協会役員会
3. 3. 25	名 古 屋 市	畜産会役職員功労者表彰式 (WEB)
3. 3. 26	名 古 屋 市	愛知県農業会議臨時総会
3. 3. 26	名 古 屋 市	肥育牛経営等緊急支援特別対策事業全国会議 (WEB会議)
3. 3. 29	名 古 屋 市	愛知県養豚協会理事会・定時総会

第3 事業関係

1. 公益目的事業

(1) 公1 畜産物の価格変動により生ずる畜産経営体の損失を補填する事業

牛肉の輸入等に係る状況の変化が、国内肉用牛生産にもたらす影響を緩和するため、肉用子牛の価格が低落した場合や肥育経営の収益性が悪化した場合に補填金等を交付し、肉用牛の再生産が確実に実施されるよう措置した。

ア 肉用子牛生産者補給金制度

肉用子牛生産安定等特別措置法に基づき、補給金交付契約を締結した肉用子牛生産者に対して、子牛の平均売買価格が国が定める保証基準価格を下回った場合は(独)農畜産業振興機構から生産者補給金を交付し、合理化目標価格を下回った場合には生産者負担金と県補助金および機構補助金で造成した生産者積立金から生産者補給金を交付することにより、肉用子牛の生産と価格の安定を図り、肉用子牛生産経営の健全な発展を期した。

令和元年度は、第1四半期及び第3四半期にその他肉専用種で発動があった。

- ・ 委託団体数 13団体 契約生産者 162者
 - ・ 調査指導等 35日 (延べ37団体)
 - ・ 令和2年1月～12月 個体登録頭数 6,266頭
- | | |
|---------|--------|
| ・ 肉専用種 | 1,159頭 |
| ・ 肉専その他 | 2頭 |
| ・ 乳用種 | 1,509頭 |
| ・ 交雑種 | 3,596頭 |

① 生産者補給金交付契約締結状況

契約生産者 162者	内訳：個人経営 123者、組合法人 4者、会社法人 35者
------------	-------------------------------

② 事務委託先

区分	団体名
農協連(1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協(10)	あいち尾東農業協同組合、あいち海部農業協同組合、あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協(1)	愛知県酪農農業協同組合
その他(1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 生産者積立金造成実績 (R2.1～12月)

【生産者積立金単価】登録日：6カ月齢－1日(積立は四半期毎)

(単位：円)

	生産者負担額		県費補助額		機構補助額		計	
	1～3月	4～12月	1～3月	4～12月	1～3月	4～12月	1～3月	4～12月
黒毛和種	300	400	300	400	600	800	1,200	1,600
その他肉専用種	3,100	4,700	3,100	4,700	6,200	9,400	12,400	18,800
乳用種	1,600	1,700	1,600	1,700	3,200	3,400	6,400	6,800
交雑種	600	800	600	800	1,200	1,600	2,400	3,200

・生産者積立金造成実績 (R2.1~R2.12)

(単位:円)

区 分	単価 ※	頭数	造 成 額 内 訳			合 計
			生産者 負担金	県生産者 積立助成金	機構生産者 積立助成金	
黒毛和種	1,200	245				
	1,600	914	439,100	439,100	828,200	1,756,400
その他肉専種	12,400	1				
	18,800	1	7,800	7,800	15,600	31,200
乳用種	6,400	495				
	6,800	1,014	2,515,800	2,515,800	5,031,600	10,063,200
交雑種	2,400	971				
	3,200	2,625	2,682,600	2,682,600	5,365,200	10,730,400
計		6,266	5,645,300	5,645,300	11,290,600	22,581,200

※単価：上段 H27.7~R2.3、下段 R2.4~R2.12

④ 生産者補給金交付実績

その他肉専で令和元年度第4四半期に75,190円/頭の発動があったが本県は該当なし。

<四半期別平均売買価格>

(単位:円)

区 分	黒毛和種	その他肉専	乳用種	交雑種	
保証基準価格	541,000	320,000	164,000	274,000	
合理化目標価格	429,000	253,000	110,000	216,000	
平均売 買価格	第4四半期	718,900	243,900	249,100	425,400
	第1四半期	620,700	297,300 ※	238,200	340,500
	第2四半期	654,800		241,000	332,000
	第3四半期	740,100		256,400	369,700
	第4四半期	774,500		249,800	380,500

※その他肉専の平均売買価格の算定期間は、本年度より令和2年4月から令和3年3月までの1年間となった。

その他肉専で令和2年度 22,700円/頭の発動があり、本県は2頭該当となったが、令和3年度交付の予定。

⑤ 第6業務対象年間終了に伴う生産者積立金等の返戻及び返還

肉用子牛生産者補給金制度資金管理細則等 11条第3項の規定に基づき、第6業務対象年間終了時における基金残額を各々の搬出額に応じて、返戻・返還を実施した。

- ・肉用子牛生産者(128者) R2.7.10 50,459,136 円
- ・(独)農畜産業振興機構 R2.7.21 69,624,037 円

イ 肉用牛肥育経営安定制度

畜産経営の安定に関する法律に基づく肉用牛の交付金の交付等業務を、農林水産大臣指定の積立金管理者として、(独)農畜産業振興機構と連携して実施し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、制度に参加する肉用牛生産者に対して肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和するため、機構の肉用牛肥育経営安定交付金(3/4)と生産者積立金からの補填金(1/4)による肉用牛交付金の交付を行った。

- ・委託団体数 11団体 契約生産者数 164者
- ・調査指導等 16日(延べ13団体、3者)
- ・令和2年4月期~令和3年3月期 個体登録頭数 18,759頭

- ・肉専用種 3,132頭
- ・交雑種 13,565頭
- ・乳用種 2,062頭

① 生産者補填金交付契約締結者（肉用牛肥育経営安定交付金制度登録生産者）

契約生産者 164 者	内訳：個人経営 109 者、組合法人 3 者、会社法人 52 者
-------------	----------------------------------

② 委託先団体

区分	団体名
農協連 (1)	愛知県経済農業協同組合連合会
総合農協 (8)	あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、西三河農業協同組合、あいち三河農業協同組合、愛知東農業協同組合、ひまわり農業協同組合、愛知みなみ農業協同組合、豊橋農業協同組合
専門農協 (1)	愛知県酪農農業協同組合
その他 (1)	(一社)愛知県配合飼料価格安定基金協会

③ 肥育安定基金造成実績（R2.4～R3.3）

国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、R2年4月から納付猶予が実施され、一部早期出荷分等を除き、基金造成なし。（R2年度単価：肉専 35千円、交雑 20千円、乳用 19千円）

④ 肉用牛交付金の交付実績

区分		1月期精算*	R2.2月期	3月期	4月期	5月期
肉専種	頭数	166	203	202	221	178
	単価	4,000.0	15,085.8	235,330.2	126,537.3	97,515.0
	金額	664,000	3,062,400	10,782,720	27,964,731	17,357,670
交雑種	頭数	999	1,012	1,098	1,109	946
	単価	0.0	24,121.8	116,715.6	148,130.1	146,220.3
	金額	0	24,411,214	128,153,690	164,276,236	138,324,349
乳用種	頭数	165	188	167	178	157
	単価	4,000.0	39,319.2	54,562.5	52,145.1	46,925.1
	金額	660,000	7,392,001	9,111,935	9,281,823	7,367,236
計	頭数	1,330	1,403	1,467	1,508	1,281
	うち交付	331	1,403	1,467	1,508	1,281
	金額	1,324,000	34,865,615	148,048,345	201,522,790	163,049,255

区分		6月期	7月期	8月期	9月期	10月期
肉専種	頭数	233	286	224	212	278
	単価	235,330.2	178,062.3	198,373.5	177,791.4	43,147.8
	金額	54,831,923	50,925,798	44,435,655	37,869,553	12,383,396
交雑種	頭数	1,017	1,175	1,054	1,084	1,144
	単価	190,413.9	180,387.9	153,076.5	163,894.5	131,468.4
	金額	193,650,886	211,955,729	161,342,605	177,661,616	150,399,808
乳用種	頭数	169	177	172	186	169
	単価	480,078.9	39,031.2	51,616.8	39,206.7	37,969.2
	金額	8,125,327	6,908,517	8,848,087	7,292,442	6,416,791
計	頭数	1,419	1,638	1,450	1,483	1,600
	うち交付	1,419	1,638	1,450	1,483	1,600
	金額	256,608,136	269,790,044	214,656,347	222,823,611	169,199,995

区分		11月期	12月期	1月期(概算*)	合 計
肉 専 種	頭 数	386	430	138	3,167 (うち交付 2,223)
	単 価	0.0	0.0	0.0	—
	金 額	0	0	0	260,277,846
交 雑 種	頭 数	1,367	1,397	985	14,387 (うち交付 13,388)
	単 価	79,365.6	29,124.9	19,405.4	—
	金 額	108,492,722	40,687,429	19,114,273	1,518,470,557
乳 用 種	頭 数	172	177	145	2,222 (うち交付 2,222)
	単 価	38,144.7	38,791.8	39,958.7	—
	金 額	6,560,833	6,866,143	5,794,006	90,655,191
計	頭 数	1,925	2,004	1,268	19,776
	うち交付	1,539	1,574	1,130	17,833
	金 額	115,053,605	47,553,572	24,908,279	1,869,403,594

R2. 1月期精算→5月交付、2～12月期→4月～2月交付、R3. 1月期概算→3月交付

(2) 公2 畜産経営の安定・向上と畜産の理解醸成に関する事業

国際化の進展や国内産地間競争の激化、畜産生産コストの上昇などで厳しさを増す畜産経営等に対して、経営や技術の改善のための適切な指導や情報提供を実施するとともに、消費者に対して畜産物の理解を深めてもらい、畜産経営等を支援した。

ア 畜産経営体の経営・技術指導に関する事業

① 地域畜産支援指導等体制強化（愛知県補助金・地方競馬全国協会補助金・(公社)中央畜産会(委託金・助成金)・図書斡旋収入)

- ・畜産経営支援に必要な指導を実施し、当協会のホームページを畜産ネットワーク(LIN)上に開設し、畜産経営に係る各種情報提供を逐一実施した。
- ・県域の家畜登録3団体が実施する登録事業を支援し、県内の優良家畜生産に寄与した。
- ・県内の畜産団体等の開催する関係会議への出席により、各種情報を把握し、畜産経営支援の実施組織体制を強化した。
- ・経営技術指導の一環として図書斡旋販売を実施した。
- ・畜産クラスター事業に関する畜産経営体調査(全国推進事業)を実施し、集計結果に基づき指導を実施した。

② 家畜生産性向上対策((公社)中央畜産会委託金)

家畜の生産性向上を図るため、畜産経営に対し、戸別指導により調査及び指導を実施。

- ・家畜の生産技術成績等のデータ収集：1回 対象：肉牛農家1戸(新城市)

③ 畜産特別資金等推進指導 ((公社)中央畜産会補助金)

畜産特別資金借受者の経営改善を図るため、県関係機関・関係団体の協力を得て、経営改善計画の達成に向けた指導を行うとともに、県協議会において、その成果と改善指導方針について検討・協議を行った。

- ・現地検討会・指導会の実施 田原市 5回(5/28、7/30、10/1、12/25、1/28)
対象：酪農家 1戸(大家畜経営改善支援資金)
肉牛農家1戸(畜産経営維持緊急支援資金)
- ・愛知県畜産経営改善推進協議会の開催 1回 令和3年3月18日 豊橋市

④ 畜産近代化リース貸付指導 ((公財)畜産近代化リース協会委託金)

畜産経営の合理化のために畜産近代化リース協会の貸付事業で設置された生乳冷却貯蔵施設、搾乳施設等のリース物件について、その管理状況等の確認指導を行うとともに、

リース事業の普及啓発用パンフレットを作成・配布した。

- ・指導の実施 2回 (2/25、2/26)
- ・調査指導件数 8戸 15基 (令和3年2月) 西尾市2戸、田原市6戸
- ・普及啓発資料作成 300部

⑤ 畜産クラスター機械導入体制強化 ((公社)中央畜産会委託金)

畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(畜産クラスター事業)の機械導入事業の県域窓口団体として、全国会議に出席するとともに、事業参加要望書の取りまとめ等を行った。

- ・事業参加承認 12協議会 27件 451,278千円(補助金額)
- ・現地確認調査 2件(3/16 田原市、3/19 豊橋市)

⑥ 畜産経営体生産性向上(畜産ICT)((公社)中央畜産会委託金)

畜産経営体生産性向上対策(畜産ICT)事業の機械装置導入の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業推進会議の開催や提出書類の点検等を実施し、畜産農家の労働負担軽減・省力化を推進した。

- ・県域窓口団体として要望・申請とりまとめ等
- ・2応援会議 8件 14,112千円(補助金額)

⑦ 酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策(楽酪GO)((公社)中央畜産会委託金)

酪農労働省力化施設整備対策事業の機械装置導入及び機械装置と一体的な施設整備の円滑な実施を図るため、県域窓口団体として事業推進会議を開催したが、労働負担軽減経営体の事業参加はなかった。

⑧ 生産基盤拡大加速化(和牛の増頭奨励金)((一社)全国肉用牛振興基金協会委託金)

牛肉の国内需要の増加と輸入拡大に対応するための、畜産クラスター計画に基づく優良繁殖和牛(雌牛)の増頭に対する奨励金交付事業について、県域窓口団体として取りまとめ等を行った。

- ・交付実績:36経営体 250頭 56,530千円

⑨ 畜産団体調整機能強化((公社)中央畜産会委託金)

県内の畜産に関わる生産者ネットワーク、後継者の連携・組織化等のための講演会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止とした。

生産者及び関係団体からの各種相談、問合せ事項等に応じ、情報の収集分析を行い助言を行った。また、生産者及び畜産関係団体からの各種要望について、県内調整を行い、県・国への要請を行った。

地方競馬開催の支援促進として、畜産フェスタにおいて、一般来場参加者を対象に、競馬PR資材の配布(マスク・絆創膏・パンフレット等)、競馬PR動画の放映及び抽選当選者に県産畜産物をプレゼントを実施し、愛知県畜産特別競走をはじめとした名古屋競馬場開催レースのPRを行った。

⑩ 家畜防疫・衛生指導対策((公社)中央畜産会助成金)

家畜伝染病の発生予防、まん延防止等を確実かつ効率的なものとするため、地域における自衛防疫活動を推進するよう防疫演習や飼養衛生管理基準に基づく防疫対策への取組の徹底、啓発等を行い、地域自衛防疫活動の推進を図った。また、家畜・畜産物の安全性を確保する上で重要な農場HACCP認証の取得推進及び農場HACCP認証に向けた構築指導を推進した。

○地域自衛防推進

- ・地域自衛防疫取組推進会議:2回(9/15名古屋市・9/17岡崎市)
- ・県域防疫演習 2回

- a) 令和2年9月17日：148名 岡崎市
 「特定家畜伝染病県域防疫研修会（動員者研修）」
 講演：豚熱発生における防疫措置について（課題、対応方針、協力体制等）
 講師：畜産課家畜防疫対策室 玉置光主任
 愛知県中央家畜保健衛生所 前田有紀子主任専門員、安田真理子技師
- b) 令和2年9月17日：59名 岡崎市
 「特定家畜伝染病県域防疫研修会（部会員研修）」
 講演：海外及び県内の特定家畜伝染病発生状況、家畜伝染病予防法改正の概要
 豚熱防疫措置現場での課題と対応方針
 講師：畜産課家畜防疫対策室 桑原正樹室長補佐、内山雄紀主査
 愛知県中央家畜保健衛生所 安田真理子技師
- ・地域防疫演習 6回（9～1月）西尾市、海部市、豊田市・みよし市、新城市(2回)
 豊橋市・田原市

○地域農場HACCP認証支援

- ・認証構築指導 2農場（一宮市養鶏農場、常滑市養鶏農場）

⑪ 地域豚疾病低減対策強化（(公社)中央畜産会助成金）

養豚農場における生産性を著しく阻害する疾病（PRRS、PED等）の発生を低減し、まん延を防止させるため、地域自衛防疫組織等に対し、防疫対策等に係る経費の助成を行う。

- ・地域推進会議 2回：7/1 田原市、12/9 岡崎市
- ・PED清浄化推進検査：抗体検査 165検体、遺伝子検査 0検体
- ・PRRSモニタリング検査：
 抗体検査2,261検体、遺伝子検査629検体、遺伝子抽出551検体、遺伝子解析163検体
- ・巡回指導 42回（田原市）

⑫ 愛知県和牛改良協会の事業推進指導（愛知県和牛改良協会委託金）

- ・登録業務及び経営指導 15回

イ 馬の飼養衛生管理に関する情報提供及び調査

① 馬飼養衛生管理特別対策（(公社)中央畜産会助成金）

乗用馬の飼養衛生管理向上のため、乗用馬関係者を対象に飼養衛生管理技術講習会や馬獣医療実態調査を実施した。

- ・地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催 1回
 令和2年12月15日 名古屋市 10名
- ・馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催 1回
 令和2年12月15日 名古屋市 37名
 講演：「乗用馬の日常管理とデンタルケアについて」（資料配付のみ）
 「馬の飼養衛生管理基準の改正」
 講師：日本中央競馬会 馬事公苑宇都宮事業所 宮田健二診療所長
 愛知県農業水産局 畜産課 家畜防疫対策室 近藤道代主査
- ・地域馬獣医療実態調査：40施設

ウ 畜産物に関する理解醸成・情報提供

① 畜産物に関する理解醸成・情報提供（名古屋競馬株式会社寄付金など）

畜産物の生産者と消費者が直接交流する場や、消費者に本県で生産された畜産物に対する理解を深めてもらうため、試食会・啓発資料配布を実施する畜産フェスタや県内畜産物の品質や安全性に関する啓発により、畜産物消費を促進する畜産フェア等の開催を通じて、消費者に対し県内畜産物に関する相談、情報提供や適切なアドバイスを実施した。

- (参考) ・畜産フェスタの開催
 期 日：令和2年10月24日(土)
 開催場所：岡崎市(愛知県畜産総合センター)
 内容：畜産物(燻製うずら卵)のプレゼント
 競馬PR動画の放映
- ・畜産フェアの開催
 期 日：令和2年12月10日(木)
 開催場所：名古屋市(名古屋競馬場)
 内容：冠協賛レース(愛知県畜産特別競走)の実施
 名古屋けいばHPを介しての畜産品プレゼント企画(当選者100名分)を実施。
- ・A賞 あいち産牛肉 25セット
 - ・B賞 あいち産豚肉 25セット
 - ・C賞 乳製品セット 25セット
 - ・D賞 名古屋コーチン鍋セット 25セット

エ 畜産に関する表彰事業

- ① 高橋養鶏賞顕彰(高橋養鶏賞顕彰事業基金)
 高橋養鶏賞顕彰事業実施要領・顕彰規程及び選考審査基準に基づき、選考委員会で養鶏の振興発展に寄与され、その功績が顕著な者を受賞者として決定し授賞式を行った。
- ・高橋養鶏賞選考委員会 令和2年5月12日(書面開催)
 - ・第45回高橋養鶏賞受賞者 市田眞澄氏(経営部門)
 高井正和氏(青年・女性部門)
 - ・高橋養鶏賞表彰式 令和2年6月29日
- ② 家畜品評会等の優秀家畜の表彰(自己資金)
 家畜品評会等の優秀者に対し、褒賞を授与した。
- ・3団体催事 賞状4点 副賞4点

(3) 公3 畜産経営支援活動及び家畜防疫を徹底するための経費に対して助成を行う事業

厳しさの増す畜産経営に対して、経営改善のための高能力家畜の導入助成、共同生産活動強化の助成及び家畜伝染病発生時の経営再開助成等の支援により、安定継続できる経営体を支援した。

ア 畜産経営支援に関する事業

- ① 地域における肉用牛生産基盤強化等対策((独)農畜産業振興機構補助金)
 肉用牛生産基盤の強化や肉用牛生産の振興を図るため、優良な繁殖雌牛の増頭をした地域の中核的担い手生産者に奨励金を交付するとともに、中山間地域の肉用牛生産基盤の維持の一翼を担っている肉用牛ヘルパー組織への支援を実施した。
- ・増頭奨励金交付対象頭数 12頭(JA愛知東2頭、愛知県酪農協10頭)
 - ・支援対象肉用牛ヘルパー利用組合 1組合
 (愛知東農業協同組合：肉用牛ヘルパー利用組合)
 ヘルパー要員の確保 47名
- ② 優良肉用子牛生産推進緊急対策((独)農畜産業振興機構補助金)
 (新型コロナウイルス感染症に伴う畜産対策)
 経営改善のための取組を実施している和牛繁殖農家に対し、肉用子牛の品種区分ごとの全国平均価格(月別)が発動基準を下回った場合に、販売頭数に応じた奨励金を交付するものであるが、発動がなかった。
- ・県域窓口団体として要望とりまとめ等

- ・事業推進会議の開催 1回 (7/15)
- ・令和2年5月～3年3月までの毎月、全国平均価格を通知
(10月、11月、12月、1月、2月、3月にその他肉専で発動があったが、本県は該当なし)
- ・参加申込生産者：40経営体
- ・当初12月末までの事業期間が、要綱改正により延長となった。

③ 肥育牛経営等緊急支援特別対策（肥育生産支援）（(公社)中央畜産会委託金）
（新型コロナウイルス感染症に伴う畜産対策）

経営体質の強化を図るための肥育牛経営強化計画を策定し、経営の体質強化に資する取組を実施している肥育経営体に対し、出荷実績に応じた奨励金を代行交付した。

- ・参加申請とりまとめ、牛マルキン未登録肥育牛の販売報告とりまとめ、奨励金の交付代行等
- ・事業推進会議の開催 1回 (7/15)
- ・委託団体数 13団体
- ・参加生産者 176名（牛マルキン生産者 157名、その他養牛生産者 19名）
- ・交付実績：養牛生産者 157名（牛マルキン生産者 151名、その他 6名）
(4～12月) 14,484頭 289,680千円

イ 家畜防疫支援に関する事業

① 家畜生産農場清浄化支援対策（農林水産省補助金及び手数料）

慢性疾病の清浄化対策とアカバネ病等異常産の発生・流行の防止対策を推進するとともに、自衛防疫推進のための会議と講習会等を実施した。

また、補完的に当協会独自の衛生事業も実施した。

- ・ヨーネ病対策検討会の開催 3回 (4/9 岡崎市12名、5/13 豊橋市3名、
2/25：岡崎市12名)
- ・ヨーネ病対策講習会の開催 1回 (2/25) 岡崎市19名
- ・ヨーネ病検査 1農場 2頭
- ・EBL対策検討会の開催 3回 (4/9 岡崎市12名、5/13 豊橋市3名、
2/25：岡崎市12名)
- ・EBL対策講習会の開催 1回 (2/25) 岡崎市19名
- ・EBL検査 19農場 1,475頭
- ・BVD対策検討会の開催 3回 (4/9 岡崎市12名、5/13 豊橋市3名、
2/25：岡崎市12名)
- ・BVD対策講習会の開催 1回 (2/25) 岡崎市19名
- ・BVD-PI牛の淘汰 1農場 1頭

農場飼養衛生管理強化対策

- ・飼養衛生管理強化のための農場指導 3診療施設 53農場
- ・ワクチン接種技術検討会の開催 2回 (8/2：17名、3/13：19名) 名古屋市
- ・伝染病予防ワクチン接種状況

合計 10,376 頭	・牛異常産三種混合ワクチン	4,261 頭
	・牛異常産四種混合ワクチン	2,807 頭
	・アカバネ病単味ワクチン	3,308 頭

・協会独自事業(家畜衛生事業)

予防ワクチン接種事業

合計 34,969 頭	・イバラキ病生ワクチン	5,775 頭
	・牛五種混合生ワクチン	5,959 頭
	・牛五種混合不活化ワクチン	1,371 頭
	・牛六種混合(L)ワクチン	1,395 頭
	・牛六種混合(LK)ワクチン	6,632 頭
	・ボツリヌスワクチン	13,837 頭

② 家畜防疫互助等推進 ((独) 農畜産業振興機構補助金)

畜産経営に甚大な影響を及ぼす口蹄疫・CSF等の海外悪性伝染病の発生に対し、事業参加者の生産者積立金と(独)農畜産業振興機構補助金で、(公社)中央畜産会に家畜防疫互助基金を造成するため、加入促進を行った。

【加入状況】

(R3. 3. 31現在)

家畜種類	契約戸数(戸)	契約頭数(頭)	生産者積立金(円)
乳用牛	99	11,797	2,509,235
肉用牛	146	31,820	3,519,620
牛計	245	43,617	6,028,855
豚	118	271,263	10,995,110
(追加納付後)	(105)	(250,512)	(30,477,000)
合計	363	314,880	17,023,965
(追加納付後)	(350)	(294,129)	(36,505,855)

【加入率】

(県内飼養：R2. 2. 1 畜産統計)

	乳用牛		肉用牛		豚(追加納付後)	
	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)	戸数(戸)	頭数(頭)
県内飼養	271	22,600	351	41,200	197	352,700
契約	99	11,797	146	31,820	105	250,512
加入率	37 %	52 %	42 %	77 %	53 %	71 %

事業推進会議等の開催 1回(3/15) 名古屋市 26名

③ 家畜防疫互助(互助金交付) ((公社) 中央畜産会補助金)

県内でのCSFの発生に伴い、発生養豚農家や県畜産関係者に対し互助金交付に関する説明会の開催と互助金の交付を行った。

- ・説明会 1回：6/17 西尾市
- ・互助金交付認定委員会(書面)9回：
 - 5/14(田原市3農場)、6/12(田原市3農場)、7/10(田原市2農場)、
 - 7/20(瀬戸市2農場)、8/7(西尾市2農場)、8/24(西尾市1農場)、
 - 8/25(田原市1農場)、10/5(田原市2農場)、11/24(長久手市1、瀬戸市1農場)
- ・互助金交付実績：(R2年度)20戸(22農場) 509,835,920円
(R1年度)2戸(3農場) 164,683,200円 合計22戸(25農場) 674,519,120円

④ 海外悪性伝染病対策支援(自己資金)

海外悪性伝染病が万が一県内で発生した場合、国・県などの補助対象とならない経費に対して支援することとしているが、発生がなかったため、事業執行はなかった。

- ・対象家畜：牛、豚
- ・対象疾病：口蹄疫、牛疫、牛肺疫、ASF

⑤ 馬伝染性疾病防疫強化特別対策((公社) 中央畜産会助成金)

地域における自主防疫活動の強化を図るため、乗用馬・農用馬等を対象とした馬インフルエンザワクチン接種推進及び馬飼養衛生状況の普及啓発等を推進した。

- ・馬ワクチン接種等検討会の開催 2回(8/25、12/15) 名古屋市31名
- ・馬インフルエンザワクチン接種推進 対象施設 16施設、164頭(乗用馬)

2. 収益事業

(1) 収1 事務室等の賃貸

ア 事務室等の賃貸

大津橋ビルの土地・建物について、当協会と一般社団法人大津橋会館が、それぞれ十分の三と十分の七の持ち分（面積比）により大津橋ビル運営委員会を組織するとともに共同管理し、会議室及び事務室の賃貸しを実施した。（事務所入居率 57%）